

近畿大学医学部(前期) 英語

2026年 1月 25日実施

1	2	3	4	5	6	7	8
ウ	エ	イ	ア	エ	イ	ウ	イ
9	10	11	12	13	14	15	
ア	エ	エ	イ	イ	エ	エ	
16	17	18	19	20	21	22	23
イ	オ	イ	オ	ア	ア	エ	イ
24	25	26	27	28	29	30	31
ウ	エ	オ	エ	ウ	オ	ウ	オ
32	33	34	35	36	37	38	39
エ	イ	イ	オ	オ	エ	ウ	エ

A～C 文法・語法・語彙

(A) 「次の文を最も適した語句を用いて完成させなさい」

(1) ウ <take to> 「～を好きになる, ～に夢中になる」

He didn't think he'd like skiing, but he soon took to it.

「彼はスキーが好きになるとは思わなかったが, すぐにスキーに夢中になった」

(2) エ tighten 「～を引き締める」

“Then, we'd better tighten our budget for next year's event.”

「それじゃあ来年のイベントの予算を引き締めるほうがいいね」

(3) イ embrace 「(積極的に)～を取り入れる」

“Eager to learn its benefits, he decided to embrace the new technology.”

「その長所を学びたかったので, 彼は新しい技術を取り入れることに決めた」

(4) ア coin 「～(造語)を作る」

She tried to coin a catchy phrase for the campaign.

「彼女はキャンペーンのためのキャッチフレーズを作ろうとした」

(B) 「下線部を引いた単語と最も意味の近い答えを選びなさい」

(5) エ <all but> 「ほとんど, ほぼ」

「昨夜その地域を襲った強い地震によってその古城はほぼ倒壊した」

(6) イ <stand one's ground> 「自分の立場を守る, 自分の主張を貫く」

「だが彼は会議中, 自分の主張を貫いた」

(C) 「以下の各段落を、最も適切な語句を補って完成させなさい」

(7) ウ “~, slow the buildup of atmospheric CO₂~”

「大気中の二酸化炭素の蓄積を遅らせる」

それぞれの選択肢は、ア input 「入力」 イ spread 「拡散」 ウ buildup 「蓄積」 エ reduction 「減少」

(8) イ “The location where the absorbed emissions are stored govern the long-term stability and management of carbon pools ~”

「吸収された排出物が貯蔵される場所が炭素プールの長期にわたる安定と管理を左右する」

それぞれの選択肢は、ア avoid 「避ける」 イ govern 「左右する」 ウ prevent 「防ぐ」 エ restrict 「制限する」

(9) ア “Yet, how carbon is dispersed across different pools on land remains unclear.”

「だが, 炭素が陸上においてどのように炭素が分散しているのかははっきりしていない」

それぞれの選択肢は、ア yet 「だが」 イ also 「～もまた」 ウ thus 「したがって」 エ hence 「したがって」

(10) エ “They can take hundreds of years to break down in the environment ~”

「それらは、環境の中で分解するには数百年かかるだろう」

それぞれの選択肢は、ア <slow down> 「～を減速する」 イ <turn down> 「～を断る」 ウ <settle down> 「落ち着く」 エ <break down> 「～を分解する」

(11) エ “Scientists have been scrambling for ways to remove PFAS ~”

「科学者は、PFAS を除去する方法を競い合ってきた」

それぞれの選択肢は、ア blaming 「～を非難している」 イ proposing 「～を提示している」 ウ presenting 「～を提示している」 エ <scrambling for> 「～を競い合っている」

(12) イ “Bacteria commonly found in the human gut could potentially be used to gather up PFAS and carry them out as waste.”

「人間の腸内に広くみられる細菌は、PFAS を集めて老廃物として排出するのに使われる可能性を秘めているだろう」

それぞれの選択肢は、ア <hand out> 「～を手渡す」 イ <carry out> 「～を排出する」 ウ <point out> 「～を指し示す」 エ <figure out> 「～を理解する」

(13) イ “Maybe our bacteria – that have been our companions for thousands of years – may already be helping us do something about it.”

「おそらく数千年前から私たちとともにいる体内の細菌は、もうすでに私たちがそれについて何かをする手助けをしているのかもしれない」

それぞれの選択肢は、ア making 「強制している」 イ helping 「手助けしている」 ウ prompting 「促している」 エ instructing 「教えている」

(14) エ “The brain is like an ecosystem ~”

「脳は生態系のようなものだ」

それぞれの選択肢は、ア idea 「考え」 イ entity 「実体」 ウ engine 「エンジン」 エ ecosystem 「生態系」

(15) エ “~, neuroscientists have spent decades identifying different “species” of neurons and other brain cells that support them.”

「神経科学者は、さまざまなニューロンの『種』とそれを支える他の脳細胞を特定するのに数十年費やしてきた」
 それぞれの選択肢は、ア growing 「成長すること」 イ networking 「～をネットワーク化すること」 ウ cultivating 「～を耕すこと」 エ identifying 「～を特定すること」

D, E 長文

- (D) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」

- (16) 「第2段落(P2)の outsized に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はイ。greater は「より大きな」という意味。下線部を含む1文の意味は「その山のいかなる重要な部分であれ自動化することで、並外れた見返りが生まれる」である。それぞれの選択肢はア「無益な」 ウ「適度な」 エ「自動化された」 オ「包括的な」である。

- (17) 「第2段落(P2)の autonomous に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。independent は「独立した、自立した」という意味。下線部を含む1文の意味は「しかし重要なことに、このツールは人間が介入することなしに自律的な決定を下しているわけではない」である。

- (18) 「第3段落(P3)の mounting に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はイ。growing は「増大している」という意味。下線部を含む1文の意味は「企業の世界では、このためにデータを社内に閉じ込めておく『エアギャップ（物理的隔離）』型の AI ソリューションに対する高まる需要が生まれている」である。

- (E) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」

- (19) 「本文によると、FDA はなぜ生成 AI ツールの開発を決定したのか」

ア 「人的ミスを減らすため」
 イ 「サプライチェーンを監督するため」
 ウ 「民間セクターと競争するため」
 エ 「人員削減を補うため」
 オ 「審査プロセスを部分的に自動化するため」

正解はオ。第2段落1,2文より、審査員、分析官、検査官が行う仕事は、ELSAにより、部分的に自動化されていることがわかる。第1段落最終文に、「かつて科学的な審査に2～3日かかっていた作業が、今ではわずか6分で完了する」とあり、これはELSA開発による自動化のおかげで得られた恩恵である。本文中には、ELSA開発の理由は書かれていないが、結果得られた恩恵がそれに対応すると考えられる。

- (20) 「本文によると、ELSA が行わないのはどのタスクか」

ア 「医薬品表示を編集する」
 イ 「安全性報告書を作成する」
 ウ 「臨床試験記録を自動化する」
 エ 「大量の構造化されていないデータを処理する」
 オ 「非臨床データベースの設定のためのコードを提供する」

正解はア。第2段落第4文にはELSAを用いてスタッフが行う仕事として“compare drug labels”「医薬品表示を比較する」ことが挙げられているが、その編集については、述べられていない。なお、第2段落第1文には、数多くの審査員、分析官、検査官が行う仕事として、「安全性報告書」「臨床試験記録」といった「大量の構造化されていないデータ」の処理があげられている。続く第2文ではそれらの重要な部分を自動化することでかなりの見返りが得られるとあるが、その自動化はELSAによると考えられる。よって、イ、ウ、エはELSAが行うタスクだとみなしてよい。またオは、同段落4文中にELSAを用いてスタッフが行う仕事として挙げられ

ている。

- (21) 「以下の記述のうち、本文で提供された情報によって最もよく裏付けられているのはどれか」

- ア 「ELSA の製造コストは、当初の予想よりも低かった」
- イ 「ELSA は、民間セクターから広く批判を受けている」
- ウ 「ELSA は、現在、複数の機関にまたがる複数のチームで使用されている」
- エ 「ELSA は、実証に基づく学習アシスタント機能を備えた生成 AI ツールである」
- オ 「ELSA は、導入が遅れたにもかかわらず、作業効率を大幅に向上させることでその有効性を証明した」

正解はア。第 1 段落第 2 文後半で、「本日、我々は予定より早く、予算内という目標を達成した」と、FDA 長官のマーティ・マカリー博士が述べているのが根拠となる。

- (22) 「本文によると、ELSA は AI システムのどの欠点を解決しているか」

- ア 「人間の関与の必要性を減らしている」
- イ 「第三者の AI システムをシームレスに統合している」
- ウ 「民間セクターから提供されるトレーニングデータを使用している」
- エ 「完全に社内で完結したシステムを確立している」
- オ 「オープンな外部データソースを含むモデルを採用している」

正解はエ。第 3 段落第 3,4 文より、民間セクターでは、多くの大規模言語モデルが、専有コンテンツやユーザー提供コンテンツを用いたトレーニングを行っていることで批判にさらされているが、この欠点を克服するべく、データを社内に閉じ込めておく「エアギャップ（物理的隔離）」型 AI ソリューションへの需要が高まっていることがわかる。続く第 5 文に「FDA のモデルは、多くの場合オープンまたは外部のデータソースに依存している多くの企業ツールとは異なる」とあり、FDA が開発した ELSA はその需要を満たす「エアギャップ（物理的隔離）」型、つまり社内で完結したシステムであることがわかる。

- (23) 「本文によると、ELSA を導入した実質的な成果は何か」

- ア 「判断を伴うタスクの排除」
- イ 「不可欠な FDA サービスの効率化」
- ウ 「一般に利用可能なサービスの提供」
- エ 「審査員、分析官、検査官の必要性の排除」
- オ 「民間セクターで使用する AI 手法に対する競争の提供」

正解はイ。第 2 段落第 3 文が根拠となる。その 1 文の意味は「ELSA は、FDA のチームがいくつかの不可欠な業務をスピードアップさせるのを助けている」である。

F,G 長文

- (F) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」

- (24) 「第 1 段落(P1)の in the face of に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。＜in the face of＞には「～にもかかわらず」という意味がある。下線部を含む 1 文の意味は「人手不足が続いているにもかかわらず、企業が活発に採用活動をしていることを踏まえ、省の担当者はこの数字は採用に対する新型コロナの影響がほぼ消えたことを示していると述べた」である。

- (25) 「第 2 段落(P2)の trajectory に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はエ。trajectory の文字通りの意味は「軌道」である。そう考えると正解選択肢はイの orbit となりそうであるが、orbit は惑星や衛星が別の惑星や恒星の周りを回る動き、すなわち円運動を指すことが多い。ところが下線部を含む 1 文の意味に注目すると、「続く数年間で、その

数値は上向きになり、2018 年と 2020 年に卒業した人々に関しては、それまでで最高の 98 パーセントに達した」と書かれている。ここから、下線部 trajectory は円運動というよりは、upward とともに用いられて、「上昇傾向、上向きの動き」を指していて、単純に「向き、経路」を表していることがわかる。この意味に最も近いのは direction である。

- (26) 「第 2 段落(P2)の favours に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。favor は「～を好む」以外に「～に有利に働く、～に都合が良い」という意味がある。下線部を含む 1 文の意味は「厚労省の職員によると、学生に有利な『売り手市場』は、来年の春以降もしばらく続くと予想される」である。

- (G) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」

- (27) 「本文によれば、COVID-19 の大流行は日本の雇用慣行にどのような影響を及ぼしたか」

- ア 「それは雇用を調整した」
- イ 「それは雇用を押し上げた」
- ウ 「それは雇用を緩和した」
- エ 「それは雇用を減少させた」
- オ 「それは雇用を強化した」

正解はエ。問われているのは“COVID-19 pandemic”「新型コロナの大流行」が日本の雇用慣行にどのような影響を与えたかである。直接の根拠となるのは、第 2 段落の第 2 文である。その意味は、「そしてその後パンデミックが襲い、その数字は下降傾向に向き始めた」である。ここでの「その数字」とは、第 1 段落第 3 文目に出てきた“the employment rate”「就職率」である。以上より、新型コロナの大流行は、雇用を減らしたと読み取れるため、選択肢エが正解であるとわかる。

- (28) 「本文によれば、次の年度のうち、かつて大学卒業生の雇用率の頂点を示したのはどれか」

- ア 「2008 年」
- イ 「2011 年」
- ウ 「2020 年」
- エ 「2021 年」
- オ 「2023 年」

正解はウ。第 2 段落第 1 文が根拠となる。その 1 文の意味は、「続く数年間で、数値は上向きになり、2018 年と 2020 年に卒業した人々に関しては、それまでで最高の 98 パーセントに達した」である。

- (29) 「以下の選択肢のうち、本文で与えられた情報によってもっとも裏付けられるのはどれか」

- ア 「現在は、大学に通っていない学生のほうが雇用の選択肢がある」
- イ 「理系の学位をもって卒業する学生の方が文系の学位をもって卒業する学生よりも多い」
- ウ 「日本の大学卒業生の雇用率は、地域的な事象にしか影響を受けない」
- エ 「近年の大卒の雇用率は、雇用者記録の標本を抽出することで算出された」
- オ 「仕事を確保していない大卒学生を支援するためのプログラムが始動している」

正解はオ。第 4 段落第 3 文が根拠となる。その意味は、「厚労省が『大学と協働して、職をまだ見つけていない人々に詳細な雇用支援を提供することになる』と彼は付け加えた」である。その他の選択肢は、本文に記載がない。

- (30) 「本文によれば、次のグループのうち最も高い雇用率を経験したのはどれか」

- ア 「男子卒業生」
- イ 「女子卒業生」
- ウ 「高専卒業生」
- エ 「国公立大学卒業生」

オ 「私立大学卒業生」

正解はウ。根拠となるのは第 3 段落最終文である。その意味は、「高専に関して雇用率は、男子学生しか標本抽出されなかったが、100%だった」である。

- (31) 「本文によれば、ここ最近 10 年間で最も低い雇用率につながったのはどのような要因か」

ア 「リーマンブラザーズ」

イ 「高い雇用率」

ウ 「COVID-19 の大流行」

エ 「大学卒業生の飽和」

オ 「アメリカの金融制度の破綻」

正解はオ。根拠となるのは第 1 段落最終文である。その意味は、「アメリカの投資銀行であるリーマンブラザーズの 2008 年の倒産によって、求職者が最も深刻な影響を受けたとき、2011 年に卒業した人の就職率は、これまでで最低の 91%だった」である。リーマンブラザーズという企業が倒産して金融制度が機能不全に陥ったことが、近年の就職率の底値を打った原因といえる。なお、リーマンブラザーズという企業そのものが原因であったわけではないので注意が必要である。

H 長文

- (32) 「第 1 段落(P1)で提示されている要点は何か」

ア 「明るい色相は毒性を持つことを常に示す」

イ 「小型両生類はきわめて危険だ」

ウ 「ヒトのような動物は流行に乗っていると見なされうる」

エ 「体表が判明な色をしていることで重要な情報を伝えている可能性がある」

オ 「ヤドクガエルは鳥やへびに捕食される」

正解はエ。第 1 段落第 1, 2 文が根拠となる。第 1 文の意味は「ファッションと同じように動物界でも、明るい色が強い主張をする」で、続く第 2 文はその具体例となっており、意味は「イチゴヤドクガエルの鮮やかな色相は『私を食べたら、お前はもうお終いだぞ』と宣言している」である。よってエが正解だとわかる。

- (33) 「第 2 段落(P2)で、毒性のきわめて強い動物がそれを伝達する方法を説明する際、『伝統的な方式』という表現で意味されていることは何か」

ア 「それらは模様を変化させる頻度が高い」

イ 「それらは同じ性質を備えた視覚情報に頼っている」

ウ 「それらはどのようなものであれ明白な警告シグナルの使用を避ける」

エ 「それらは毒性を持つ他の動物の見た目を真似る」

オ 「それらは他の動物よりもはっきりと互いに意思疎通をする」

正解はイ。まず設問にある“conservative approach”が含まれる第 2 段落第 2 文を確認する。その意味は「しかし、原住民がその有毒な分泌物を吹き矢に塗ることにちなんで名づけられたヤドクガエルは、この伝統的な方式の例外のひとつとなっている」である。「この」とあることから、その内実は直前の第 1 文から読み取ることができる。その意味は「自衛に毒を用いる動物は目を引く体表色により、自らの毒性を示すことが多く、そのことをはっきりと伝えるために、代り映えのしない模様を用いる傾向にある。例えば、オオカバマダラの特徴的な橙と黒の縞模様がそうである」が根拠となる。よってイが正解だとわかる。

- (34) 「本文によると、カエルの毒にさらされたマウスに観察される影響を最もよく説明しているものは次のうちどれか」

ア 「マウスに見られた変化は、カエルの皮膚との直接接触によるものであった」

- イ 「観察された影響は、それぞれのカエルのもつ毒素が弱められた濃度によるものであった」
 ウ 「カエルのもつ毒素の影響は、元来の状態を一切変えずに測定された」
 エ 「結果は、それぞれのカエル由来の毒素のうち、考えられる限り最も強力な種類を反映していた」
 オ 「それぞれの実験結果は、地味な個体と派手な個体の両方に由来する、カエル由来の毒素を混合したものの強さを示していた」

正解はイ。第5段落第2文が根拠となる。その1文の意味は「次に研究者たちは、それぞれのカエルの皮膚から毒素を抽出し、希釈したうえで実験用マウスに注射した」である。dilute という語が用いられていることに注意することが、正解を見極める大きなきっかけとなる。知識が左右する設問となっている。

- (35) 「最初の3つの段落(P1-P3)によると、ヤドクガエルの体色とその進化史との関係を最も正確に説明している主張は次のどれか」

- ア 「ヤドクガエルの配色は、海水面の上昇にさらされる際、毒性のあるすべての動物がおしなべてどのように見た目を変えるかを示す一例である」
 イ 「ヤドクガエルは、孤立した地域に生息していたにもかかわらず、進化の道筋を共有していたおかげで、1000年かけて、さまざまな色を生み出してきた」
 ウ 「ヤドクガエルの鮮やかな体色は交尾の相手を魅了することだけを意図しており、そうなのは、パナマで砂糖菓子が登場したのと同様だった」
 エ 「海水面の上昇による孤立以前に、そのカエルに見られる体色の個体差はすでに大きかったが、孤立後この傾向はさらに顕著になった」
 オ 「そのカエルの体色に個体差が大きくみられるようになったのは、海水面の上昇により生息域が分散してからであり、このような分岐が毒性のある動物にみられることは稀で、通常そのような動物は同じ警告模様を用いることが多い」

正解はオ。第2段落最終文に「そのカエルの多くは赤みがかった体と青い脚をしているが、体色が、きらきらとした橙赤色、斑点のある蛍光黄色、海のように深い青などをしている個体も多い」とあり、ヤドクガエルの体色に大きな個体差が見られることが確認できる。次いで第3段落第1, 2文に「そしてもう一点。およそ1万年前、この種はかなり様な見た目をしていた。しかし、海水面の上昇により、今日のパナマのなかでそのカエルが生息する地域の一部が海に囲まれ、ボカスデルトロと呼ばれる列島が形成され、そのカエルはさまざまな生息地に分断され、異なる進化の経路を歩んだ」とあり、そのような個体差が生まれたのは海水面の上昇によって生息域が分断されて以後だとわかる。そして第2段落第1文に「自衛に毒を用いる動物は目を引く体表色により、自らの毒性を示すことが多く、そのことをはっきりと伝えるために、代り映えのしない模様を用いる傾向にある。例えば、オオカバマダラの特徴的な橙と黒の縞模様がそうである」とあり、通常の有毒動物は模様が画一的であることが述べられている。以上より、オが正解だとわかる。

- (36) 「第4段落において、毒性に対する色の関係に関するカミングズの理論は何か」

- ア 「体色と毒性には相関関係がほとんどなく、どちらも時間の経過によって別々に変化する」
 イ 「控えめな色のカエルだけが生き残ったのは、捕食者が毒性の有無とは関係なくカエルを食べないようにしたからである」
 ウ 「より大きな集団の中で生きるカエルは社会的選択によって毒性と体色が弱くなった」
 エ 「カエルの毒性と体色は、進化の過程によってではなく環境的要因によって完全に決定づけられた」
 オ 「毒性の強化と並行して体色も明るく進化したことが警告として機能し、毒性の弱いカエルは捕食者を避けようとして目立ちにくくなる傾向があった」

正解はオ。第4段落第3文に「もし色が捕食者に後退するよう強く警告するなら、毒性の強いカエルは見つかる危険が高くなる」とあり、第4文に「死に至るほどではない毒を持つカエル

は、目立たなければ生き延びる可能性が高いだろう」とあるので、これに近い内容のオが正解である。

- (37) 「第6段落(P6)において、以下のうち主張されていないのはどれか」

- ア 「ヘビはヒトには見えない暗がりの中で世界を認識する」
 イ 「鳥は、カエルが見せるすべての色の種類を見ることができる」
 ウ 「多くの異なった種類の動物がカエルの色に注意を払う」
 エ 「ヘビは赤外線を感じするのに最もたけた捕食者である」
 オ 「カエルの明るい色の皮膚は鳥によって捕食されることを主な理由として進化した」

正解はエ。第6段落の内容を細かく確認する。アについては、第6段落第3文を根拠とする。その意味は、「ヘビは、私たちには見えない赤外線を含めた、独特な種類の暗がりの中で世界を認識する」である。よって本文に合致する。イについては、第6段落第5文を根拠とする。その意味は、「カミングズは、カエルを食するいろいろな動物の中で、鳥だけがカエルのすべての色の種類を識別できる視覚能力を持っている」である。よってイも本文に合致する。ウについては、第6段落第4文を根拠とする。その意味は、「カエルを見る多くの様々な動物が、色に注意を払う」である。よってウも本文に合致する。オについては、第6段落最終文を根拠とする。その意味は、「彼女が言うには、鳥はだいたい前からカエルを最も死に至らしめる捕食者であったにちがいない、テクニカラーの皮膚はそうした脅威に対応して進化したのである」である。よってオも本文に合致する。残るエは、“the most effective predator at detecting infrared”が本文に記載がなく、赤外線を感じするのにもっとも長けている捕食者かどうかは判断できない。よって、エが本文では主張されておらず、本問の正解であるとわかる。

- (38) 「第7段落冒頭の“**But**”が示す修辭的なポイントは何か」

- ア 「色鮮やかなカエルのすべてが同じ明るさの度合いを持つわけではない」
 イ 「捕食ではなく性が、進化上の変化の主な駆動力である」
 ウ 「捕食から身を守ることだけが、カエルの外見の変化要因というわけではない」
 エ 「カエルが明るくなればなるほど、進化上の利点としてある種の捕食者を引き寄せる可能性が高くなる」
 オ 「鳥は色を特定するのが上手いが、体温が低いので明るさの度合いを感知することができない」

正解はウ。第7段落第1文に「色には単なる色相以上のものがあり、ヤドクガエルの進化はそれも利用している」とあり、第3文では「鳥は色の識別は得意だが、明るさの度合いを感知することに対しては、あまり得意ではない」と述べられている。ここから、カエルの体色が鳥などの捕食者に探知されにくくするためのものであることがわかる。さらに第4文ではカミングズの考えとして「だからカエルの体色の強度は生物学上の性をめぐるものであるに違いない」ことが示され、第5文では「カエルの目が交尾の相手を選ぶことに関係する明るさの度合いを正確に判断するためにうまく調整されていること」をカミングズが発見したとある。以上のことから、カエルの色は捕食者から逃れるためのものだけではなく、生殖にも関連するものであることが読み取れる。

- (39) 「第8段落(P8)でカエルとクジャクを比較している論理は何か」

- ア 「両種の警告信号の違いを示すため」
 イ 「この場合、ヤドクガエルの方が不運であることを示すため」
 ウ 「同じ進化の仕組みが鳥類にも当てはまることを例証するため」
 エ 「この場合、一つの進化的形質から、ヤドクガエルが二重の利益を得ていることを示すため」
 オ 「ヤドクガエルの洗練された体色が、クジャクの尾の派手さをしのいでいることを示すため」

正解はエ。第 8 段落全体が根拠となる。第 1 文では「進化の観点から見ると、ヤドクガエルは幸運だった。というのも、オスがメスを引きつけるのに役立つ派手な身体的特徴のせいで、しばしばオスは捕食者から攻撃を受けやすくなるからである」とあり、一般的に派手な身体的特徴をもつことが、被食可能性を高めるという点で不利に働くのに対して、ヤドクガエルはその不利を免れていることが予想できる。その点を明確にするために持ち出されたのがクジャクとの対比である。同段落第 2 文によれば、「長く色鮮やかな尾をもつクジャクは、メスに好まれるが、その尾のせいで危険から飛んで逃れるのが難しくなる」。それに対して、同段落第 3 文にあるように、ヤドクガエルは「二兎を得ることに成功している」、つまり、「派手な体色は交尾の相手を引きつけると同時に、それは捕食者への警告にもなる」のである。これらの内容をまとめたものが同段落最終文であり、この設問に答える決定的な根拠となる。その 1 文の意味は「他の動物たちが羨む中で、ヤドクガエルは生き延びるために繁殖を犠牲にする必要がなかったのだ」である。

講評

形式：近畿大学 2025 年度前・後期入試と同様。

内容：

- | | | | |
|------------|------------|-------|--|
| A～C | [文法・語法・語彙] | (標準) | 昨年度前期試験と(C)の英文の語数はあまり変わらないが、問われている知識は標準的で、文脈で答えが決められるタイプのものが多い。 |
| D～E | [長文] | (やや難) | 「FDA が導入した AI システム : ELSA」に関する英文。(D)の同義語選択は昨年同様やや難しく、(E)の内容一致も正確に判断するには時間を要する。 |
| F～G | [長文] | (標準) | 「学生就職率の推移」に関する英文。身近な話題であり、データの整理に注意する必要があるが、F の同義語選択問題以外には特に判断に迷う選択肢は見当たらない。 |
| H | [長文] | (標準) | 「ヤドクガエルの進化における特色」に関する英文。文章量は大問中もっとも多いが、論旨はつかみやすい。順序が段落通りではない設問も見られた。表現上の意味・役割を問う設問が復活。 |

形式面では昨年度と大きな違いはないが、設問も含めた分量は昨年度より若干増加した。長文の設問に関しては同義語選択問題が依然として難化傾向にある。とるべき設問でしっかり得点できるかどうかが鍵を握る。目標は 60%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校

メビオ

☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>



医学部専門予備校

YMS

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校

☎ 03-3370-0410

<https://yms.ne.jp/>

☎ 0120-192-215

<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

諦めない受験生をメビオは応援します！

**医学部後期入試
ガイダンス** **参加無料**

2/11 (水・祝)
14:00～14:30

医学部進学予備校 メビオ校舎

お申込みはこちら▶



医学部進学予備校

メビオ



0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。
【受付時間】9:00～21:00 (土日祝可)

後期入試も **チャンス** あり！

**私立医学部
大学別後期模試**

2026年度入試対策

近畿大学医学部 2/17 (火)

金沢医科大学 2/20 (金)

締切：4日前15:00 会場：エル・おおさか

詳細やお申込は
こちらから



大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分